



非常用管制塔システム (EVA - 05)

非常用管制塔システム (EVA - 05) が仙台空港に移動！

2005年、明星電気は航空機の安全飛行に不可欠なシステムとして、非常用管制塔システム (EVA - 05) を国土交通省航空局へ納入し羽田空港に設置しました。本システムは、空港において不測の事態が発生し、常設の管制塔が機能しなくなった場合、その代替手段として運用されます。また、非常時には他の空港にも運搬ができる移動型で管制塔、制御、電源システムから構成されています。今回の東北地方太平洋沖地震により仙台空港の管制塔が使用不能となってしまったため、急遽羽田空港から仙台空港に移動され、現在最後の調整に入っています。救援・復興のために、一日も早く仙台空港の機能が回復されるよう願っております。

(当社営業担当: 第一営業部 古賀 健一郎)


 県庁サーバーシステムと
計測震度計 (下段)

埼玉県様で明星電気の 震度情報ネットワークシステムが運用されています！

埼玉県様の震度情報ネットワークシステム更新工事にて、明星電気の次世代震度情報ネットワークシステムが採用されました。本工事は、日本電気株式会社様との協業で、県内94箇所の計測震度計、4箇所の気象庁分岐装置及び県庁に設置されたサーバシステムを更新するものです。

本システムは、市町村に設置された計測震度計にて観測した震度データを県庁震度情報処理サーバで収集し、リアルタイム情報解析処理とデータベース収録処理を行い、気象庁及び消防庁への迅速なデータ伝達を行っています。

明星電気の次世代震度情報ネットワークシステムは、国・地方公共団体、そして住民の皆様の地震防災対応に貢献しています。

(当社営業担当: 第二営業部 小野 義明)



施設学校長様と学校幹部視察の様子

陸上自衛隊施設学校「施設科セミナー」に QCAST®シリーズ、計測震度計を展示！

2月28日(月)から3月1日(火)にかけて、陸上自衛隊施設学校(茨城県ひたちなか市)において「施設科セミナー」が行われ、防災機器メーカーなど35社が出展しました。

明星電気は、地震災害時の隊員の安全や施設保全を目的にQCAST®シリーズとナウキャスト地震情報対応計測震度計を展示し、緊急地震速報の各種関連施設において活用を提案を行いました。

さらに、施設学校長様と幹部の方々による視察が行われたほか、日々、施設保全やその方法について全国の各部隊に情報発信されている学校教官や隊員の方が見学され、業務に役立てて頂くため地震防災に対する最新情報を提供し、好評となりました。

また、環境計測の応用技術として宇宙関連機器の紹介を行い、「はやぶさ」や国際宇宙ステーションでの搭載機器の実績を説明し、当社の技術力の高さを感じていただきました。

(展示担当: 第一営業部・営業支援グループ)

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。